



Title	阪大音楽学報 第16・17号（合併号） 編集後記/奥付/裏表紙
Author(s)	
Citation	阪大音楽学報. 2020, 16・17
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/98480
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

輪島さんが書いておるとおり、新任の鈴木聖子さんに強力に推し進めていただき、今回は合併号という形でようやく刊行の遅れを取り戻しつつあります。執筆者の皆さん、校正などに協力してくださった方々、そして鈴木さんに深謝いたします。

私は息子に教えてもらった網野善彦『古文書返却の旅』という新書に感銘を受け、「後始末」というものは大事ななあ、と思う日々。この『阪大音楽学報』を軌道に戻すことも含めて、そろそろ「後始末」を真剣に考えないと思っています。

(伊東信宏)

刊行が遅れている間に、世の中がとんでもないことになってしまいました。しかし、今号も、時代、地域、対象、方法論のいずれにおいてもきわめて多様な論文が集まり、阪大音楽学研究室の研究の幅の広さと質の高さをお伝えできると確信しています。2020年度からは雅楽からストリップまで一人でカバーするスーパー助教、鈴木聖子さんをお迎えし、この逆境の中でもさらなる発展が望まれます。ということで、「来年はモア・ベターよ」と懐かしの和製英語で締めたいと思います。

(輪島裕介)

2020年春、本号の執筆者の一人でもある藤下さん（昨年度のCA）から丁寧に仕事の引き継ぎをして頂きつつも、大変な時期に航海中であった『阪大音楽学報』を前に、不安にならなかったといえは嘘になりますが、執筆者の皆さんが研究室や図書館の閉鎖など悪条件を乗り越えて全力投球で取り組んでいる姿に刺激を受けました。また、猛暑の中、気温と同じくらい熱く校正の補助に入ってくくださった皆さんとも楽しい時間を過ごしました。このような素晴らしい刊行物を持っている研究室に来たことを誇りに思います。

(鈴木聖子)

阪大音楽学報 第16・17号(合併号)

発行日：令和2(2020)年9月30日発行

発行所：大阪大学文学部・大学院文学研究科
音楽学研究室

〒560-8532 豊中市待兼山町1-5

Tel 06-6850-5124

Fax 06-6850-5124

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/ongaku/>

編集委員会：伊東信宏、輪島裕介、鈴木聖子、
藤下由香里

編集補助：木村颯、近祥伍、佐藤馨、張佳能、吉村汐七

印刷：株式会社 ケーエスアイ

〒557-0063 大阪市西成区南津守7-15-16

©2020 大阪大学大学院文学研究科 音楽学研究室

不許可複製 ISSN 1348-0456

HANDAI ONGAKUGAKUHŌ vol.16・17 (Journal of HANDAI Music Studies)

Published September 2020

Publisher:

Osaka University (=HANDAI), Musicology Division

1-5 Machikaneyama-cho, Toyonaka-city,

Osaka 560-8532, Japan

Tel: +81-(0)6-6850-5124

Fax: +81-(0)6-6850-5124

Homepage: <http://www.let.osaka-u.ac.jp/ongaku/>

Editors: ITO Nobuhiro, WAJIMA Yusuke, SUZUKI Seiko,
FUJISHITA Yukari

Assistant Editors: KIMURA So, KON Shogo, SATO Kaoru,
CHOU Kanou, YOSHIMURA Sena

Printer: KSI Co., Ltd.

7-15-16 Minamitsumori Nisinari-ku,

Osaka-city, Osaka 557-0063, Japan

©2020 Osaka University, Musicology Division

All right reserved. ISSN 1348-0456

HANDAI ONGAKUGAKUHŌ

VOL. 16・17 (2020)

Reconsidering Richard Taruskin's Critique of Authenticity	1	SUGIYAMA Eri
Intermediality and the discursive construction of popular music genres: the case of 'Japanese City Pop'	15	Moritz SOMMET, translated by KATO Ken
<Review Paper> What makes City Pop, City Pop? — The Current State and Prospects of City Pop Studies —	45	KATO Ken
The Role of CDs in Dojin music — Music as an interpersonally mediated luxury product	63	FUJISHITA Yukari
The Shōka kyōiku (唱歌教育, the Shōka song education) in Manchuria — A study based on the "Song textbooks for Japanese school" published by the South Manchurian Association for Education, 1924-1937 —	85	HIRAO Keiko
"Music and people in Kansai area" from Osaka Nichinichi News paper 2017.4.-2019.3.	<1>	